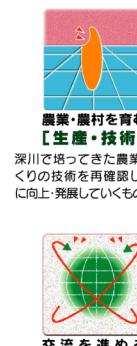


はぐくみの里

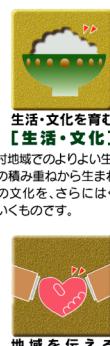


テーマ館（ライス館）・農業活性化センターを拠点に農業や米づくりへの理解を深め（はぐくみ）、深川の地域性を印象付けるとともに、新規就農者センター・農業技術センターを拠点として、地域農業を支え発展させていくための高度な生産技術や優れた人材を育て（はぐくみ）ます。



農業・農村を育む
[生産・技術]

深川で培ってきた農業・米づくりの技術を再確認し、さらに向上・発展していくものです。



生活・文化を育む
[生活・文化]

農村地域でのよりよい生活と、その積み重ねから生まれる独自の文化を、さらにはぐくんでいくものです。



空間を彩る
[自然・空間]

農業生産と農村生活とが密接にかかわる田園空間を維持し、よりよい景観形成を目指していくものです。



交流を進める
[交流]

地域の生産・生活を、より豊かにするための地域内での、また地域外との、さまざまな交流を進めていくものです。

めくもりの里



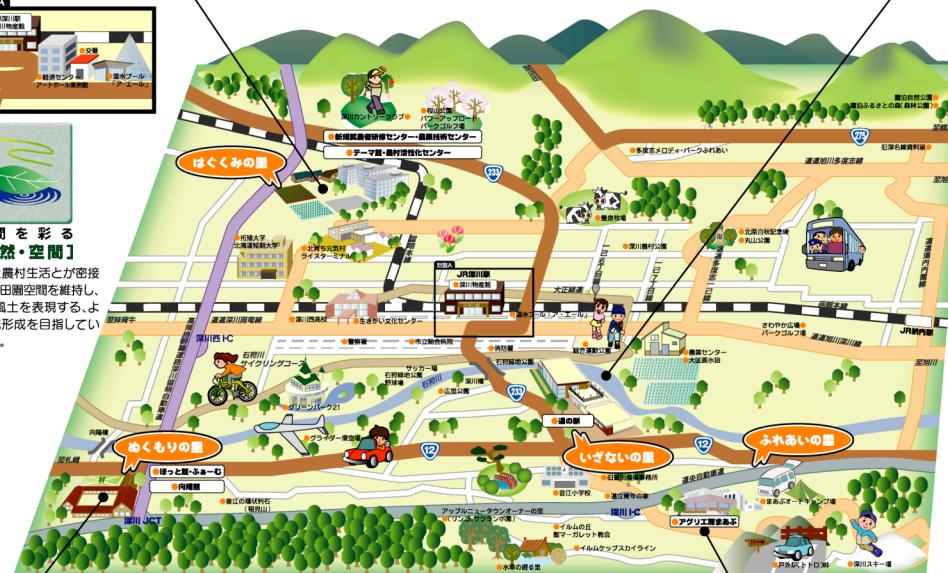
交流促進施設「ほっと館・ふあーむ」や芸術文化交流施設「向陽館」を拠点に、農村地域の芸術文化と地域内外住民の交流（めくもり）を図ります。

ライスランド ふかがわ構想

深川では、「こめのまち深川」のイメージをまちづくりに生かすプロジェクトを推進。それが「育みゆく穂波の大地」をキーワードに、特性を生かした「4つの里」を中心として多角的な地域交流を促す「ライスランドふかがわ構想」です。

The Rice Land Fukagawa Project

Fukagawa is taking full advantage of its image as "the town of rice" with the Rice Land Fukagawa Project. Based on the key concept of "fostering the land of amber waves of grain," it makes the most of its natural features in four areas to promote the diversity of exchanges between communities.



いざないの里



「米のまち深川」のイメージや地域の総合的な情報を発信する拠点施設として、平成15(2003)年7月にオープンした道の駅「ライスランドふかがわ」。深川の持つ魅力を多くの利用者にPRし、通過する方々を市内へと誘導（いざない）します。

ライスランドふかがわ構想

構想の目的と性格

この構想は、米・稲・田園の利用・展開をテーマに、深川の歴史や風土を基盤とした地域の活性化のための構想です。これまで各分野・組織でそれぞれ取り組んでいた計画や事業の有機的な連携を図り、地域の文化や技術、豊かな空間をつぎの世代に引き継いでいこうとするものです。

構想のコンセプト

深川のよりよい暮らし・生産を目指した「地域個性の確立・継承」を基本コンセプトに、これまで培ってきたことの確認、地域のネットワーク化・発信、次世代への継承を図ります。

実現に向けて

施設やソフト事業などの内容については、構想を進める上で基礎となることから、今後とも十分な検討と検証を行なながら、構想を推進していきます。

構想目標イメージ

「住む人の元気・訪れる人の楽しみ」「先達の語り・次代の喜び」を目標に、深川の特色や風土を生かして、市民が語りと愛着を持ち、資源や文化、自然をつなぐ世代に引き継ぐ住民本位のまちづくりを展開します。

展開の期間

構想に基づく施設整備などの目標期間は、おおむね10年とし、計画的かつ効果的な整備の推進を図っていきます。

ふれあいの里



緑豊かな自然環境や美しい田園風景を生かし、深川の魅力をアピール。都市農村交流センター「アグリ工房まあぶ」を拠点に、まあぶオートキャンプ場、戸外炉（トトロ）峠、観光農園などとの連携を図り、地域内外の多様な交流（ふれあい）を進めます。